



# ネイチャーセンターだより

2019年8月号

## 新・いきもの図鑑



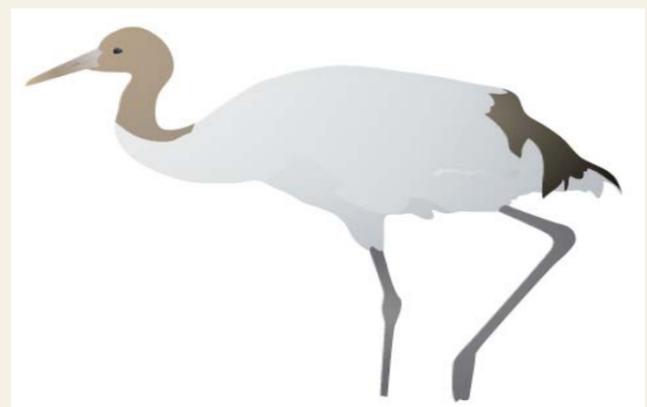
## アオサギ (サギ科)

首が長くほっそりした体型で、一見タンチョウと似ていますが、よくみると様ざまなちがひがあります。まず飛ぶ時の姿勢は、アオサギは写真のように首をS字に縮めるのに対して、タンチョウはピンと首を伸ばしたままです。食べものの探し方は、アオサギは狙いを定めて、一突きで捕らえますが、タンチョウは下を向いて歩きながら探します。またタンチョウは木の枝にとまることができませんが、アオサギは木の枝にとまるのが得意で、眠るのも巣をつくるのも木の上です。営巣中の姿など、アオサギの魅力が詰まった写真展を25日まで、ネイチャーセンターで開催中です！

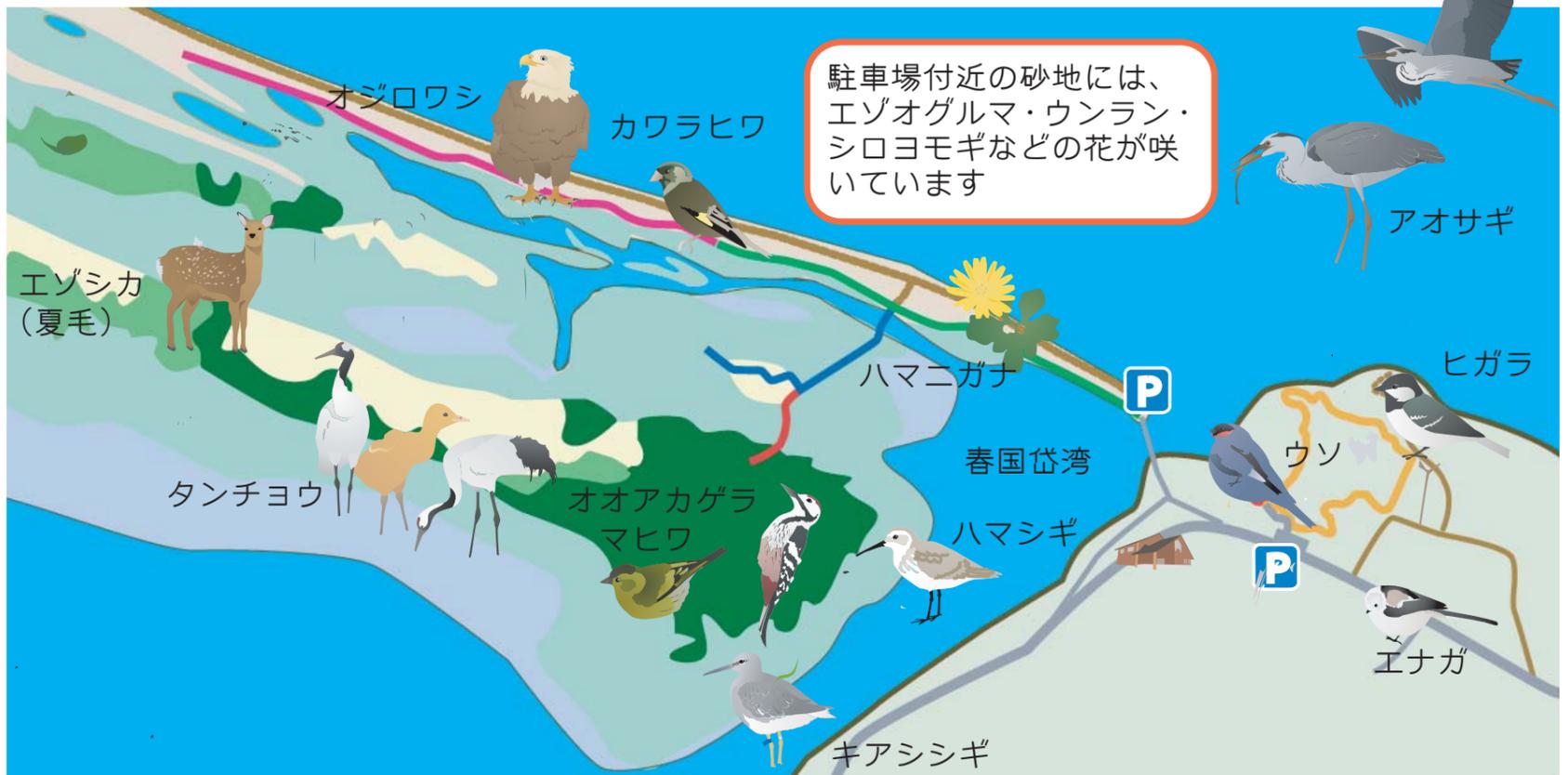
## 春国岱で生まれたタンチョウが育っています

この夏、春国岱の湿原に住んでいるタンチョウのつがいの間に生まれたヒナ1羽が、すくすくと育っています。7月末には親とほぼ同じ大きさにまで育っており、3羽そろって食べものをさがしている姿が、ネイチャーセンターの望遠鏡から見える日もあります。

春国岱には毎年3～4つがいのタンチョウがなわばりをもって住み着いていますが、成鳥と同じ大きさにまで育った幼鳥が確認されたことは、過去14年の調査では1度もありませんでした。順調に行けば、まもなく飛べるようになるでしょう。春国岱生まれの幼鳥が無事、大空にはばたくことができるように、みなさんも見守ってあげてください。



# 見どころMAP



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 8月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
  - ちょっと気をつければ見られる
  - + よく気をつければ見られる
  - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	幼鳥は体全体が褐色、くちばしは基部が黄色いが、先は黒い。成鳥は頭部が白っぽいものが多い、くちばしはレモン色。成鳥・亜成鳥(生後1年以上)・幼鳥が、干潟に並んで下りていることがたまにある。
タンチョウ	○	春国岱周辺では、今年もヒナが誕生し順調に育っている。体は親鳥の7~8割程度まで大きくなってきたが、体全体が茶色っぽい。ネイチャーセンターの望遠鏡を覗くと、遠くの湿原を親子3羽で歩いている姿が見られることもある。個体を識別するためのリングを脚に装着されているタンチョウもいる。
アマツバメ	○	地上に下りることがなく、食べものを探すのも寝るのも空中で行う。翼は鎌の形をしている。ネイチャーセンターの上空を群で飛んでいることが多く、この時期よく見られる。
シギ・チドリ類	+	北の地方で繁殖を終えたものが風蓮湖に飛来する。風蓮湖では今まで40種が記録されており、そのうち春国岱でよく見られるのは、メダイチドリ・アオアシシギ・キアシシギ・トウネン・ミヤコドリなど。
サギ類	○	アオサギがこの時期、最大で200羽前後が春国岱に集まり、干潮時に水辺で、カレイやギンポなどの魚を捕らえる姿が見られる。全身が白いダイサギも数羽飛来する。
小鳥・キツキ類	○	さえずりの季節はほぼ終了。まださえずっているのは、ウグイス・シマセンニュウ・エゾセンニュウ・コヨシキリ・ベニマシコくらい。林の中では、エナガやシジュウカラ・ハシトガラ・ヒガラ・ゴジュウカラ・コサメビタキ・センダイムシクイ・エゾムシクイなどの、幼鳥を連れた家族群に出会える。キバシリ・アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラの姿も。
植物の開花	東梅自然学習林内	エゾフウロ・エトリカブト・オオウバユリ・オオダイコンソウ・クサフジ・ツルアジサイ・ハシドイ・ハンゴンソウ・ミミコウモリ・ヨブスマソウなど
	春国岱	アッケシソウ(紅葉)・ウンラン・エゾオグルマ・エゾカワラナデシコ・エゾツルキンバイ・エゾヒナノウスツボ・クサフジ・ナミキソウ・ハチジョウナ・ハマニガナ・ハンゴンソウ・ヤマハハコなど

あしわ つき  
足環付タンチョウその後

「34V」<sup>フイ</sup> 5月号の本欄で4月5日、前浜に「150-1034」という番号の金属足環をつけたタンチョウのオスが現れたということを書きました（この個体は元は「34V」と刻まれた色足環を着けられていたのが今は外れていますが、便宜上「34V」と呼びます）。「34V」はつれあいをこの冬に亡くしてしまい、元のなわばりには戻らずに前浜に1羽で出現。4月20日には足環を着けられていない1羽の2～3歳の若鳥と一緒に現れていました。

5月16日には前浜に、金属足環をつけた1羽が現れましたが、番号は確認できませんでした。前浜には6月にも足環を着けられていない別の2羽が何度か来ていましたが、「34V」と明確に確認できるタンチョウは見つかっていません。

温根沼にある「34V」の元のなわばりは結局、足環を着けられていない成鳥2羽のつがい<sup>せんゆう</sup>に占有されてしまいました。「34V」は1998年生まれのベテランなのですが、負けてしまったのか、つがいになれなかったためなのか、不明です。

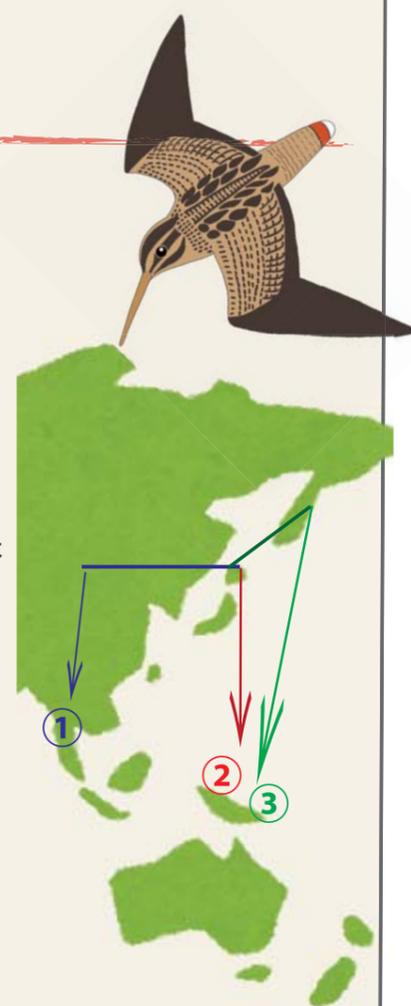
330 7月4日、来館者の森島スミ子さんから、前浜にほど近い、温根沼大橋の海側の浅瀬<sup>あさせ さいしよく</sup>で採食しているタンチョウ9羽（今年繁殖していない鳥たち）の中に、6月までは見あたらなかった黄色い足環をしているタンチョウがいることを教えていただきました。

7月18日にレンジャーが確認したところ、色足環の番号は「330」。タンチョウ保護研究グループ<sup>ほごけんきゅう</sup>からの情報によると、なんと「34V」の昨年生まれた一人娘<sup>むすめ</sup>でした。親子が一緒になった瞬間があったのか、はたまた入れ違うようにこの場所にたどりついたのか。いろいろと想像をめぐらされる発見でした。

しゅんくにたい  
春国岱クイズ

にぎやかだった鳥たちのさえずりの季節は、あっという間でしたね。子育てを終えた夏鳥たちは、それぞれ冬を過ごす地域へ旅立つ準備を始めます。このおたよりでも紹介したオオジシギは、オーストラリアなどで冬を過ごします。どのようなルートで遠くはなれた南半球まで渡るのかを調べるために、2016年に日本野鳥の会などが、オオジシギ5羽に衛星追跡装置をつけました。その内1羽からは驚きの結果が！さて、次のうちどのようなルートを通ったのでしょうか。

- ①北海道から大陸にわたり、そこから少しずつ南下する
- ②北海道から一気に太平洋上に出て、南半球を目指す
- ③北海道よりも北の地方へ行ったあと、南下する



# 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！



事前にお申し込みが必要な場合は、お電話またはメール、直接ご来館ください。  
お申込みの際は、参加者全員のお名前、ご連絡先、小中高生の方は学年もお知らせください。

## 内海千樫写真展 「アオサギ」

～8月25日（日）まで

春国岱では夏の時期に、200羽前後が集まるアオサギ。その生態を長年撮影してこれ「蒼鷺」（共同文化社）というすばらしい写真集も出されている幌加内町在住の写真家・内海さんの作品を展示しています。

会場：春国岱ネイチャーセンター1階  
開館中にご自由にご観覧ください。（最終日は16時まで）

## ネイチャーセンター講演会 「キツツキは何故 自分の卵を捨てるのか」

8月25日（日）13:30-15:00

内海さんはある日、キツツキを観察中に、巣穴から自らの卵を捨てる姿を目撃しました。いったいなぜそんなことが起こるのか？その謎を写真記録から解き明かします。

講師：内海千樫さん  
会場：春国岱ネイチャーセンター2階 / 参加費：無料 / 持ち物：筆記用具  
定員：30名 ※8/24までにお申込みください



募集中！

## ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（保険料）：1,000円

## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 春国岱及びネイチャーセンターの敷地内は、禁煙です
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ 答 ②2016年7月に苫小牧市の勇払原野で衛星追跡装置をつけた5羽のうち1羽が、9/10（推定）に北海道を出発、翌11日に小笠原諸島、12日にサイパン・グアム島付近の上空を通過し、6日後の16日にバブアニューギニア島までどこにも止まらずに飛んだことがわかりました。なんと5,800kmをノンストップで飛んだのです！（参考資料：（公財）日本野鳥の会 .2019. おかえりオオジシギ）

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地（開館9時～17時）

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

日々の最新情報は、フェイスブックをご覧ください。

<https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：8月7・13・14・21・28日

9月4・11・17・18・24(要事前申込)

◆団体でご利用の方へ

自然観察や室内でのレクチャー、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録